

あおい開惺高等学校 通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	教科書	副教材
地理総合	2	東京書籍「地理総合」	DVD-ROM「地理総合」
評価方法	添削指導（計6回）、試験（年2回）、面接指導（年2回）での評価		

指導目標

- ① 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。
- ② 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

〔評価の観点〕

【主体性】 ・地理に関わる諸事象について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

【知識・技能】 ・社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切に調べまとめることができている。

【思考・判断力・表現力】 ・地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第1回 提出期限 5月29日	第1編 第1章 私たちが暮らす世界	1節 私たちが暮らす世界 1)緯度・経度 2)地球儀と世界地図 3)日本の位置と領域 2節 地図や地理情報システムの役割 6)主題図の種類と読み取り 7)地理情報システムと地図	面接指導 【～2月26日まで】 ・時差の計算について ・地図の種類と特徴について ・地形図の読み取りについて ・主題図の表現方法の特徴について ・GISについて ●携帯端末による地図サービスの長所（集団授業）
第2回 提出期限 6月30日	第2章 資料から読み取る現代世界 第2編 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境	8)交通の発達 9)情報通信の発達 10)国境をこえる人々の移動 11)拡大する貿易 12)つながる世界、多極化する世界 2節 生活文化と自然環境① 地形 14)山地の暮らし 15)平野の暮らし	・交通、情報通信の発達について ・国際移動の現況について ・国際分業と産業の変化について ・国家間のさまざまな結び付きとその役割について ・河川がつくる平野の小地形について ●日本のコンテンツ産業について（集団授業） ●富士山信仰の原点（集団授業）
第3回 提出期限 7月31日	第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境	3節 生活文化と自然環境②気候 18)熱帯の人々の暮らし 19)乾燥帯の人々の暮らし 20)温帯の人々の暮らし 21)亜寒帯・寒帯の人々の暮らし 4節 生活文化と社会環境 ①産業 22)食生活と農業の分布 発展）諸農業の特徴 発展）工業立地の特徴 26)情報産業の発達と生活文化	・各気候帯の気候要素の特徴について（熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯、寒帯） ・農業、食生活の地域差について ・工業立地の特質について ・通信産業の発展による世界の変化、産業の情報化について ●先進国の工業における変化の特徴（集団授業） ●インターネットで買い物をする人が多くなったのはなぜだろうか？（集団授業）

		の変化	■前期単位認定試験【9月】
添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第4回 提出期限 10月30日	第2章 さまざまな地球的課題 と国際協力 GLOBAL REPORT	GLOBAL REPORT 1節 地球環境問題 27)地球環境問題(1) 28)地球環境問題(2) 2節 資源・エネルギー問題 29)資源・エネルギーの偏在 30)化石燃料から再生可能エネルギーへ 3節 人口問題 31)人口問題(1)人口の増加 32)人口問題 (2) 少子高齢化	GLOBAL REPORT ・中国, 韓国, アラブ首長国連邦, 中央アンデス ・東南アジア, インド, イギリス, ロシア, オーストラリア, アフリカなどの現状と諸問題 ・地球環境問題の現状について ・森林の減少や砂漠化の進行について ・エネルギー消費の南北格差の現状と背景について ・途上国が抱える人口問題について ・少子高齢化が進む背景とその影響について ●海洋汚染とプラスチックごみ問題の解決にむけて（集団授業） ●地熱発電建設をめぐる問題点（集団授業）
第5回 提出期限 11月30日	第2章 さまざまな地球的課題 と国際協力	4節 食料問題 33)食料需給をめぐる問題 発展) 食料問題の解決に向けて 5節 居住・都市問題 34)発展途上国の居住・都市問題 35)先進国の居住・都市問題 6節 民族問題・紛争と平和の構築 36)民族問題・難民問題 発展) 民族問題をどう乗り越えるのか 7節 持続可能な社会の実現をめざして 37)地球的課題と国際協力 発展) 持続可能な社会とSDGs	・食糧問題が生じる背景について ・途上国の都市問題～発生の要因について ・先進国の都市化と郊外化, 都市再開発について ・難民と民族問題について ・地球的課題の解決へ向けてのさまざまな国際的取り組みとその課題について ●SDGsと問題解決に向けて今, 取り組めること（集団授業）
第6回 提出期限 12月25日	第3編 第1章 自然環境と防災	1節 日本の自然環境の特色 38)日本の地形の特色 39)日本の気候の特色 2節 さまざまな自然災害と防災 40)地震災害・津波災害(1) 41)地震災害・津波災害(2) 42)火山の災害とめぐみ 43)気象災害(1) 44)気象災害(2) 45)都市と自然災害 46)防災・減災と復旧・復興	・地形の特性と自然災害との関係性について ・プレート境界地震とプレート内地震の違いについて ・地震災害の軽減へ向けた取り組みについて ・季節ごとに生じる気象災害の原因について ・都市型災害の要因・影響について ・防災・減災へ向けた各地域における取り組みについて ●自然災害に備えて, 今, できること（集団授業） ●非難をするときのNG行為とは?（集団授業） ■後期単位認定試験【12月～1月】

あおい開惺高等学校 通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	教科書	副教材
地理探究	3	東京書籍「地理探究」	DVD-ROM「地理探究」
評価方法	添削指導（計9回）、試験（年2回）、面接指導（年3回）での評価		

指導目標

- ①地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因を捉える学習を通して、現代世界の諸事象の地理的認識を深めるとともに、系統地理的な考察方法を身に付けます。
- ②①をふまえ、選択した地域の特性とそこで発生する諸課題について捉える学習を通して、現代世界の諸地域の地理的認識を深めるとともに、地誌的な考察方法を身に付けます。

〔評価の観点〕

- 【主体性】知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。
- 【知識・技能】世界諸地域の特性とそこで発生する諸課題について理解することで、現代世界の諸地域についての地理的認識を深めている。
- 【思考・判断・表現力】地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第1回 提出期限 5月29日	第1編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 1節 世界の地形 2節 気候と自然環境	1)地形をつくる力 2)プレート運動とさまざまな境界 3)変動帯の地形 5)河川がつくる地形 6)海岸と海にみられる地形 7)気候や地質の影響が強い地形 1)気候の見方 2)大気大循環と気候 3)海洋と陸水	スクーリング実施計画（実施内容） 面接指導（～2月28日まで） ・大地形と小地形について ・気候要素と気候因子について ・大気の大循環について ●各気候帯と植生・土壌との対応関係（集団授業）
第2回 提出期限 6月30日	3節 気候と人々の生活 4節 日本の自然環境と自然災害	1)ケッペンの気候区分 2)熱帯の特徴と人々の生活 3)乾燥帯の特徴と人々の生活 4)温帯の特徴と人々の生活 1)日本の地形と自然災害 2)日本の気候と自然災害	・ケッペンの気候区分について ・各気候区の特徴と生活・文化について ・日本の地形、気候の特色と自然災害について ●気候に根差した生活について（集団授業） ●自然災害への備えについて（集団授業）
第3回 提出期限 7月31日	5節 世界の環境問題 第2章 産業と資源 1節 産業の発展と社会的分業 2節 農林水産業 3節 食料問題	1)地球規模の環境問題 2)地球温暖化の背景と影響 1)産業の変遷 2)産業構造と地域構造 1)農業の立地と形態 5)世界の林業・水産業 6)日本の農林水産業 1)食料問題の背景と地域性 3)日本の食料問題	・地球規模の環境問題と解決に向けての取り組み ・産業の高度化とその社会的背景について ・農業の成立・発展過程とその社会的背景について ・日本の農林水産業の変化について ・食料問題の地域的相違について ・日本の食糧問題について ●イギリスにおける農業社会から工業社会への変遷（集団授業） ●日本の食料自給率と環境への負荷・フードマイレージ（集団授業）
第4回 提出期限 7月31日	4節 エネルギーと鉱産資源 5節 資源・エネルギー問題 6節 工業の立地と工業地域の変容 7節 第三次産業	1)世界のエネルギー需要 3)日本の資源・エネルギー問題 1)工業の立地と工業地域 2)繊維・鉄鋼・石油化学 3)自動車・エレクトロニクス 7)日本の工業とその変容 1)サービス経済化の進展と流通産業の発達 2)情報通信業とその集積	・エネルギー資源の偏在性とその課題について ・日本の資源、エネルギー問題について ・工業の立地条件について ・各産業の特徴と課題について ・高度経済成長期から現在に至るまでの日本の工業の変遷について ・第三次産業の発達と社会の変化について ●再生可能エネルギーの問題点（集団授

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画 (実施内容)
第5回 提出期限 8月31日	第3章 交通・通信, 貿易, 観光 1節 交通・通信 2節 貿易と経済連携 3節 観光 第4章 人口, 村落・都市 1節 人口 2節 人口問題 3節 村落・都市	1, 2)交通の発達 (1) (2) 3)情報通信技術の発達 1)貿易の自由化と経済連携 1)観光の発達と地理的展開 1)世界の人口分布と人口増加 2)人口動態と人口ピラミッド 1)発展途上国の人口問題 2)先進国の人口問題 1)村落の機能と形態 2)都市の機能と都市システム	・流通, 情報通信業の発達について ・観光産業発達の背景と動向について ・人口分布と人口動態について ・途上国, 先進国の人口問題について ・村落の機能と立地要因, 形態の特徴について ・都市システムが形成される景について ●地形と貿易の関連性 (集団授業) ●都市の発達と地理的背景 (集団授業) ■ 前期単位認定試験【9月】
第6回 提出期限 10月30日	4節 居住・都市問題 第5章 文化, 民族・宗教 1節 生活文化の地域性 2節 民族・言語・宗教 3節 民族問題 4節 現代の国家と領土問題	1)発展途上国の居住・都市問題 2)先進国の居住・都市問題 3)日本の居住・都市問題 1)文化と環境 2)世界の宗教 1)世界の多様な民族問題 2)紛争と難民 2)領土問題	・途上国, 先進国の都市問題について ・各地域の文化形成と変容過程について ・民族問題の背景について ・民族紛争や難民問題について ・領土問題について ●紛争の歴史的背景 (集団授業) ●ヨーロッパの難民危機 (集団授業)
第7回 提出期限 11月30日	第2編 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 1節 地域区分の意義と方法 第2章 現代世界の諸地域 1節 東アジア 2節 東南アジア	1)地域区分の意義 1)中国の改革開放と急速に進む工業化 2)中国の農業・農村の近代化と都市化 5)韓国の経済成長と地域構造 6)韓国の都市・農村の変化 1)東南アジアの多様な文化 2)東南アジアの地域性と農業 3)ASEANの政治と経済発展	・地域区分のための地誌的な考察方法について ・諸地域の現況と課題について (中国, 韓国) ・東南アジアの文化の多様性や共通性について ・東南アジアの地域性の特徴について ・ASEANの協働体制の特徴と工業化の動向について ●中国の西部大開発で推進されたことは? (集団授業) ●「ルックイースト政策」が行われた理由 (集団授業)
第8回 提出期限 11月30日	3節 南アジア 4節 西アジアと中央アジア 5節 北アフリカとサハラ以南アフリカ 6節 ヨーロッパ	1)グローバル化と南アジアの経済発展 2)大都市の形成と格差の問題 2)乾燥地の生活文化と宗教 3)資源開発にみられる二つの地域の違い 1)多様な文化の成り立ち 2)モノカルチャー経済の課題 1)ヨーロッパ統合の流れ 2)ヨーロッパの農業とその変容 3)ヨーロッパの産業とその変容 4)EUの拡大と地域格差	・南アジアにおける経済自由化や産業開発, 工業化の進展について ・西アジアの文化・生活・宗教 ・西アジアの資源開発 ・ヨーロッパ統合が進む背景について ・EUの共通農業政策の特徴と課題について ・工業の多極化, サービス経済化について ・EUの拡大と地域格差について ・イギリスのEU離脱について ●インドでハイテク産業が進んだ背景 (集団授業) ●イギリスのEU離脱に至った理由 (集団授業)
第9回 提出期限 12月25日	7節 ロシア 8節 アングロアメリカ 9節 ラテンアメリカ 10節 オセアニア 第3編 現代世界と日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の探究 1節 日本の地理的諸課題を読み解く	1)多様な民族と宗教 2)ポスト社会主義時代の暮らし 1)アングロアメリカの農業 1)ラテンアメリカの成り立ち 3)森林破壊などの問題 1)多文化共生の課題 2)オセアニアの資源と産業 3)オセアニアと他地域との結び付き 1)日本の地域構造 2)日本の国土政策	・ロシアの現況と課題について ・アングロアメリカの自然環境の多様性とそれによって形成される農業地帯の特色について ・オーストラリアとニュージーランドの多文化社会の形成過程について ・日本の地域構造の歴史の変遷について ・日本の国土政策の歴史の変遷について ●アメリカの農業の特徴 (集団授業) ●日本の高度経済成長と三大都市圏の成立 (集団授業) ■ 後期単位認定試験【12月・1月】

--	--	--	--

あおい開惶高等学校 通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	教科書	副教材
歴史総合	2	東京書籍「新選歴史総合」	DVD-ROM「歴史総合」
評価方法	添削指導（計6回）、試験（年2回）、面接指導（年2回）での評価		

指導目標

- ① 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ② 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

〔評価の観点〕

【主体性】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

【知識・技能】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解できている。

【思考・判断力・表現力】 ・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第1回 提出期限 5月29日	第1章 近代化と私たち 2節 アジアの繁栄と西洋近代の形成	1)18世紀の東アジア 2)結び付くアジア諸地域 3)18世紀のヨーロッパとアジア 4)市民革命と近代社会 5)産業革命のはじまり 6)世界市場の形成 7)自由主義とナショナリズム	面接指導 【～2月26日まで】 ・18世紀のヨーロッパとアジアとの交易について ・産業革命とその後の影響について ・世界各地の経済の変容について ・開国と不平等条約の締結の締結について ・産業革命の拡大と世界経済の結び付きについて ・市民革命と近代社会の形成について ・自由主義とナショナリズムの運動によって生み出された国民国家について ●ラテンアメリカと植民地化による変容（集団授業）
第2回 提出期限 6月30日	3節 世界の一体化と多様な近代	8)東アジアの国際秩序の変化と日本の開国 9)アジアの諸国家とその変容 10)明治維新と東アジアの国際関係 11)立憲制の広まり 12)世界経済の変化と日本の産業革命 14)日清戦争と華夷秩序の終結 15)帝国主義諸国の競合と国際関係 16)植民地支配と植民地の近代 17)20世紀はじめの世界	・アジア諸地域で起きた反乱や改革について ・明治維新と、日本社会の変容について ・列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容について ・日清戦争と日本の植民地支配について ●オセアニア地域の植民地化とその理由（集団授業） ●近代化と現代的な諸課題 統合・分化（集団授業）
第3回 提出期限 8月31日	第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 2節 第一次世界大戦と大衆社会	18)第一次世界大戦の展開 19)国際協調体制の形成 20)ソヴィエト連邦の成立 21)アメリカ合衆国の台頭 22)アジアの経済成長と移動する人々 23)反植民地主義の高揚と国際秩序の変容 24)民主主義の進展と社会変革の動き 25)大衆化を支えるテクノロジー	・日清戦争の原因と経過について ・帝国主義諸国間の対立や協力について ・20世紀初めの帝国主義に対する批判の動き ・第一次世界大戦について ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制について ・反植民地主義の高揚と国際秩序の変容 ●マスメディアの発達と大衆社会の成立（集団授業）

			■前期単位認定試験【9月】
添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第4回 提出期限 10月30日	3節 経済危機と第二次 世界大戦	26)世界恐慌 28)国際協調体制の崩壊 29)日中戦争と深刻化する世界の危機 30)第二次世界大戦の展開 31)連合国の戦後構想 32)アジア太平洋戦争と日本の敗戦	<ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌と各国の対応について ・ファシズムの台頭について ・日中戦争について ・第二次世界大戦について ・アジア太平洋戦争の展開と、日本の敗戦について ●国際金融体制とブレトンウッズ体制（集団授業） ●日本とドイツの戦後～共通点と相違点～（集団授業）
第5回 提出期限 11月30日	第3章 グローバル化と私 たち 2節 冷戦と世界経済	33)連合国の占領政策 34)再編されるアジアと冷戦 35)冷戦の拡大と第三勢力 36)キューバ危機と核兵器の管理 37)脱植民地化の進展と地域紛争 39)冷戦下の日本とアジア 40)日本と欧米先進国の経済成長	<ul style="list-style-type: none"> ・連合国の占領政策について ・ナショナリズムと冷戦 ・冷戦の拡大と第三勢力の台頭について ・中東における脱植民地化と冷戦の影響 ・欧米先進国と日本の経済成長について ・日韓基本条約について ●ヨーロッパ諸国が引いた境界線と植民地の独立（集団授業）
第6回 提出期限 12月25日	3節 世界秩序の変容と 日本	43)問い直される近代 44)石油危機と経済の自由化 46)冷戦の終結と世界 47)拡散する地域紛争 48)民主化の進展 49)グローバル化と地域統合	<ul style="list-style-type: none"> ・国際紛争とその影響について ・国際貢献の意義について ・日本の民主化 ・冷戦終結後の世界情勢 ・現在の国際経済秩序と動きについて ・地域統合の動きについて ●国民国家と民族問題（集団授業） ●1年間の振り返り（集団授業） <p style="text-align: right;">■後期単位認定試験【12月～1月】</p>